
刊行にあたって

近年、歯科技工士の減少や歯科医師の高齢化により、安定した歯科医療の供給が困難になることが懸念され、歯科分野における医療DX（Digital Transformation）が国家戦略の一環として推進されています。飛躍的な進歩を続けるデジタル歯科治療により、現在では歯科医院にIOSやCBCTに加え、小・中型のミリングマシンや3Dプリンターが導入される時代になりました。

とくに3Dプリンターの躍進には目覚ましいものがあり、簡便かつ安価に歯冠補綴治療を行えるようになっていきます。

本書の監修者である関 千俊先生はデジタル歯科治療のパイオニアであり、デジタル歯科治療をいち早く臨床に取り入れました。IOSで取得したスキャンデータをCADソフトで設計し、ミリングマシンによる切削加工や3Dプリンターによる積尺造形まで、すべてご自身で実践されていました。

しかしながら、関先生は発刊3ヵ月前に生涯の幕を閉じられました。『デジタル歯科治療には、“知識と技術のアップデート”が必須』と公言し、亡くなる直前まで学び続ける姿勢を私たちに示してくださいました。

本書を通じて、現在の3Dプリンターによる歯科臨床をアップデートしていただくとともに、デジタル歯科治療に取り組むきっかけとしていただければ幸いです。それは関先生が抱き続けられた願いであり、私ども編集委員の願いでもあります。

最後に、本書出版にご尽力いただきましたデンタルダイヤモンド社編集部の田村昭一様、小野寺 学様に感謝申し上げます。

ようこそ、3Dプリンターの世界へ。

編集委員 前畑 香